

# 大空 (生徒・保護者向け) 38号

宮崎県立宮崎西高校・宮崎県立宮崎西高等学校附属中学校 校長通信

令和3年5月31日(月)

## 学校改革の主体は誰か—生徒会総務交代式挨拶—

### □本日の概要

- 第93期生徒会総務の皆さんは、コロナ禍という試練の中、弱音を吐かず、努力を続けた。
- 93期生徒会総務の尽力で、校則の改定やスマホ持ち込みルールの設定に至った。「西校プライド」の第一歩となる取り組みである。
- 94期生徒会は、歴代の生徒会の成果を引き継ぎながら、委員会活動の活性化を図っている。新たな西高校づくりに取り組んで欲しい。
- 学校改革は、生徒一人ひとりが主体的に取り組む必要がある。全校生徒が、「自走できる集団」づくりに取り組んで欲しい。

### □第93期生徒会総務の皆さんへ感謝

退任する93期生徒会総務の皆さん。本当にご苦勞様でした。新型コロナウイルスの中、様々な困難が待ち受けていることが分かっているにもかかわらず、皆さんは様々なことに挑戦してくれました。

行事の運営は困難を極めました。特に、2021年当初の第3波の影響は大きく、例年実施していた共通テスト生徒の見送り、そして3年生を送る会が中止となりました。全校生徒による見送りはできませんでしたが、メッセージボードを作るなど、知恵を絞ってくれました。

皆さんは、弱音を吐かず、いつも前向きで、諦めない姿が印象的でした。コロナ禍という先の見えない暗闇の中、わずかな光を見つけるために壁を叩き続けました。先が見えない中の模索は苦しかったでしょうが、それを続けることができたのは、皆さんが「学校をよりよくしたい」という熱い思いを持っていたからです。

例えば、93期の皆さんが実現させた成果の一つに校則の改定があります。これは、代々の生徒会が継続してきた取り組みで、前々期の91期生徒会が全校生徒に向けてのアンケートを行い、話し合いを行う中で本年度4月から「白くつ下のワンポイント可」の校則改定が実現しました。スマホ等の持ち込みに関しても、自分たちのルールは自分たちで作るという精神の下、学校やPTAとの協議を重ね、本校の「スマホのルール」が完成し、4月から運用しています。93期生徒会の取り組みは、自分たちが

主体となってルールを作り、自分たちの学校は自分たちが守るという「西校プライド」を持った生徒になるための第一歩となる取り組みであったと思います。本当にご苦勞様でした。

### □第94期生徒会への期待

94期生徒会の皆さんも、歴代生徒会の取り組みを継続しながら、「自走できる西校」づくりに取り組んで欲しいと思います。学校の運営に携わるのは、生徒会だけではありません。本年度は、全校生徒が主体的に学校に関わることのできる組織にしていくため、各種委員会のシステム改革を行っています。今までは生徒会総務が中心となって様々な運営をしていましたが、各種委員会に参加する生徒の中から委員長を選出することで生徒会以外の生徒も主体となれるように、委員会活動の活性化を図っています。生徒会と各種委員会が連携し、新たな宮崎西校を創りあげてほしいと思います。

### □学校改革の主体は誰か

1学期の始業式でも話しましたが、私は、皆さんに、主体的に生きる人になって欲しいと思っています。新型コロナウイルスの影響下、主体性を身につけることは急務となりました。そのため、学習面でも生活面でも、指示を待つのではなく、自ら計画を立て、実行する力を身につけさせることを意識しており、昨年「西校プライド」「自走できる西校」という言葉を繰り返し伝えています。学校改革も皆さんの主体性が重要です。自分の要望を生徒会等に伝え、誰かにやってもらうではありません。全校生徒の皆さんが、自ら主体性を持って取り組まなければなりません。そして、全校生徒が、このコロナ禍に負けず、自らをバージョンアップさせてみせるという心構えを持たなければ、学校の改革は生徒会総務がいくら頑張っても不可能です。

1学期開始から、早くも2ヶ月が過ぎようとしています。NFCの中の、どれか一つでもいい、2ヶ月前より成長した、少しは力がついたという自分を自覚できるでしょうか。コロナ禍を単なる不幸な期間にするのではなく、自らを変革するチャンスととらえ、真の「自走する集団」になることを期待します。頑張ってください。



9 3 期総務



卒業モニュメント



共通テスト見送りのメッセージ



9 4 期生徒会任命式



卒業モニュメント作成



9 4 期生徒会総務の皆さん